

本部名：高原地区学校支援地域本部

連絡先：高原教育委員会教育総務課

電話：0984-42-1484

FAX：0984-42-3969

1 実施状況

対象学校	高原町立高原小学校・広原小学校・狭野小学校・後川内小学校・高原中学校・後川内中学校
活動分野	読み聞かせ活動、環境整備・植栽活動、登下校の見守り・あいさつ活動、三世代交流活動 社会科学習支援
○地域コーディネーター（ 1 ）人 ○ボランティア登録数（ 187 ）人	

2 年間の取組

月	下 学 年	上 学 年	中 学 校
4	・読み聞かせ（年間） ・登下校見守り（年間）	・読み聞かせ（年間） ・登下校見守り（年間）	・読み聞かせ（年間） ・登下校見守り（年間）
5			
6	・花壇整備 ・植栽	・花壇整備 ・植栽	
7	・花壇除草	・花壇除草	
8	・サツマイモ除草 ・グラウンド整備 ・三世代交流G・G大会	・サツマイモ除草 ・グラウンド整備 ・三世代交流G・G大会	
9	・イヌマキ剪定	・イヌマキ剪定	
10	・イヌマキ剪定 ・校舎外壁清掃 ・サツマイモ収穫	・イヌマキ剪定 ・校舎外壁清掃 ・サツマイモ収穫	
11	・校舎外壁清掃 ・読書まつり支援 ・学校祭支援	・校舎外壁清掃 ・読書まつり支援 ・学校祭支援	
12	・あいさつ運動（12月～） ・植栽活動	・あいさつ運動（12月～） ・植栽活動	・あいさつ運動（12月～）
1			
2			
3			

3 特色のある取組の紹介

① 「地域住民の力を生かしたふれあい活動」



【ここがイチオシ・本部自慢！】

- ・「地域ボランティアの力を児童の情操教育や安全対策に！」
- ・「活動を通して世代間交流を図ろう！」

○ 活動内容

- ・児童とともに学校園の整備・植栽・除草・サツマイモの収穫などを行った。地区のボランティアからアドバイスを受けながら楽しく作業を行なう姿が見受けられた。作業後の和やかな交流が図られた。
- ・「見守り隊」帽を着用し、登下校の際などに見守り活動を実施。高原子ども会議での発案を受け、各学校で「2」のつく日に「こここあいさつ運動」が開始。ボランティアも運動の日に各学校校門前に参集し「あいさつ運動」に加わる。元気の良いあいさつが交わされる。
- ・ボランティアによるグラウンド整備の後、三世代グラウンドゴルフ大会が開催され、ボランティア、子ども、教職員を含めた地区住民の和やかな交流が図られた。



【サツマイモの収穫作業の様子】



【見守り・あいさつ運動の様子】

○事業を通して

- ・学校側の理解が深まり、ボランティアを笑顔で迎えてもらい、協力体制ができてきた。
- ・子ども達の元気なあいさつや笑顔にボランティア自身が地域で役立っていることを実感して生きがいづくりとなっている。子ども達との交流が嬉しい。また活動を通して参加者同志の交流の場ともなっている。（参加者の声）

② 「地域の身近な先生による地域歴史・文化財学習！」



【ここがイチオシ・本部自慢！】

- ・高原町文化財調査員による小小連携授業「高原町歴史をめぐる」社会科学習支援！

○活動内容

- ・町内4小学校6年生を対象に、小小連携授業「高原の歴史をめぐる」で町文化財調査員の皆さんに講師を依頼。町内の狭野神社・皇子原神社・霧島東神社など町内の由緒ある歴史・文化財について現地で学習する。（古事記編纂1300年とあいまって功を奏した。）
- ・町内の小学6年生が各班に分かれ、学ぶ楽しさとともに町内の歴史に縁のある場所の見学を通して、子ども達が郷土の歴史・文化財を理解するとともに、郷土を愛する心を養う一助となった。



【狭野神社見学の様子】

○事業を通して

- ・地域の歴史・文化財に精通した文化財調査員の皆さんのご協力により地域学習ができた。事前調査・案内板の設置・資料準備をはじめ、当日子ども達の学習に入念な配慮をいただき感謝している。郊外に出て、身近な地区の人からの授業は教室で受ける授業とは異なり、新鮮な印象を持ったように感じた。（教職員の声）

4 次年度へ向けて

- ・現在教育委員会広報誌「友遊」を通してボランティア活動の様子を住民にPRしたり、また区長会回覧を通してボランティア募集など行ったりしている。ボランティア活動に気軽に参加してもらうため、いろいろな機会をとらえ、ボランティアへの積極的な参加を呼びかけて、登録数増加を図る。
- ・地域の人材を生かし、活動の場を広げる取組を図る。ボランティアに対する研修の計画。
- ・事業の進め方や実行委員会での会議のあり方についてより充実を図る。ボランティアや住民が学校行事に気軽に参加できるよう学校側とも協議を行っていきたい。